

2015 ミラノ国際博覧会

「石川の日」ステージイベント

長瀬 能登米生産者協議会会長プレゼンテーション概要

Il riso di Noto
La FAO ha designato i Satoyama e i Satoumi di Noto sistemi agricoli d'importanza globale per l'umanità patrimonio agricolo dell'umanità



↓

Gli agricoltori di Noto aderiscono al movimento di produzione del riso in armonia con l'ambiente

- Obiettivo: passare alle future generazioni i campi di riso ricevuti dagli antenati
- Modalità:
 - ① Grande esigenza nella cura dei sapori
 - ② Minor uso possibile di prodotti e fertilizzanti chimici
 - ③ Sempre il massimo rispetto per gli organismi viventi, l'ambiente naturale e il paesaggio (riducendo le emissioni CO₂, delle macchine agricole, usando dispositivi scaccia-uccelli predatori ecc.)
- Popolazione agricola: 4.800 persone; superficie agricola: 4.500 ettari (40 volte la superficie occupata dalla Expo Milano 2015)



★能登は自然と調和した農林水産業と人の営みが維持・保全されている世界的に重要な地域として、2011年に国際連合食糧農業機関（FAO）により、世界農業遺産に認定されました。認定を契機に、先人から受け継いできた農業を維持・保全し、未来に引き継いでいくため、能登の農業者が力を合わせて、環境と調和した米作り運動を始めています。農薬や化学肥料にできるだけ頼らない栽培や、農業機械からの二酸化炭素の排出抑制、案山子の設置など、生き物や環境・景観に配慮した栽培などに取り組んでいます。現在、この取り組みに4,800名の農業者が賛同し、面積は4,500haと、この万博会場の約40倍であり、市町・農協を越えた広域的な取り組みとしては、日本の中でも大規模なものとなっています。

★能登半島には、「あえのこと」という収穫への感謝と翌年の豊作を祈願するため、水田の神様を家に迎え入れ、風呂や食事を提供するなど、目に見えない神様がまるでそこに存在するように、もてなす農耕儀礼があります。この「あえのこと」はユネスコの無形文化遺産として登録されています。

★皆様には、是非、石川県へお越しいただき、美味しいお米や景色などを楽しんでいただくことを期待したいと思います。